



体育授業において、教師の子どもたちへの『言葉がけ』は大変重要です。教師の言葉がけ一つで、子どもたちは、運動が「できるようになったり」「楽しくなったり」します。我々教師は、授業において、それら言葉がけの教育的効果を踏まえた上で、意図的に行っていく必要があります。1時間の授業で、一人でも多くの子どもたちに、数多くの言葉がけを適切に行い、体育好きな児童生徒の育成と、できる喜びを感じさせられる授業を展開していきましょう。

言葉がけの種類について



この内容の言葉がけが多いと、子どもたちの活動が活発になる。

言葉がけの種類	内 容	
	【一般的】	【具体的】
肯定的内容	「うまい」 「よかったね」	「腕を振るリズムがいいね」 「腕の上げ方がよかったね」
矯正的内容	「こうしなさい」 「もっとこうして」	「まだ腕振りが足りないね」 「後ろに引く方に力を入れて」
否定的内容	「だめ」(安全面等) 「そうじゃないね」	「その振り方じゃだめだよ」 「その振り方じゃないよね。どうするのだったけ？」

授業場面での言葉がけの実際

1 学習規律等を高める言葉がけの実際



(1) 集合・整とん・あいさつ等の場面



「肘がしっかり伸びていますね」



「誰も動いている人がいません」



「背筋がピンと伸びてますね」

【言葉がけの留意点】

子どもたちの今ある現状を、即座に見取り、よい行動・行為を、子どもたちに具体的な言葉で、即フィードバックすることが大切です。

『いつ言葉がけするの、今でしょ!』

【その他の言葉がけ例】

- ・ 5秒で整列できました。早いね。
- ・ 体は楽にできていいから、耳と目はこちらですよ。
- ・ かかところがピッタリついていて気持ちいいですね。
- ・ ○○さんの背中は、ピシッとしますね。



集団行動等の学習規律に関する指導は、体育授業を支える重要な指導内容です。それは、学習規律が定着していないと、子どもたちの規律ある整然とした活動ができず、けが等が発生しやすい状況となり、安全性の低い授業となってしまいます。また、「行—見—待—つ」等の体制が整うことにより、効率よい活動となり、活動量が確保されることにつながります。そのためにも、年度当初に行う体育授業のオリエンテーションの時間や、スタートカリキュラムの時期、そして、単元（学習過程）の初期の時間に、それらを意識させる言葉がけを意図的に発していくことが、その後の授業づくりに有効に働き、子どもたちの学習態度や意欲の向上につながっていきます。

(2) 準備・片付け等の場面

走って準備して素早いですね。



2人で安全に運んでますね。

「せーの」のかけ声をかけていて、いいですね

マット片付けが上手になっています。



跳び箱は、必ず2人組で運ぶんだよ！



2分で準備できました。この前より、10秒早いよ。



【その他の言葉がけ例】

- ・〇〇さんは、安全に気をつけて持っていますね。
- ・協力できていますよ。
- ・〇〇さんたち、スムーズでいいですよ。
- ・準備が不足しているところによく気づきましたね。
- ・慌てなくていいよ。
- ・とても早いですよ。
- ・女子のチームは、運ぶときかけ声かけてるよ。
- ・力持ちがいっぱいいいていいですね。

※良い行為を見つけたらすぐに『言葉がけ』！

【ポイント】

- ・人名やチーム名を言ってあげること。
- ・どこの部分がおいのか、具体的に示してあげること。
- ・よい行為であることに気づかせること。

2 活動を活発にする言葉がけの実際

展開時に必要な言葉がけの種類でポイントとなる内容が、1Pのシートにも記載してある「肯定的で具体的な内容」の言葉がけです。教師の定めた指導計画や評価規準をもとに指導し、子どもたちの身体活動から表れる動作等について、「どの部分が素晴らしく」「どの部分が評価できるのか」を、落ち着いたニワトリのように首を振り、つぶさに観察し、タイミングよくフィードバックしていくことが大切です。その時発せられる言葉が、子どもたちにとってイメージしやすく、どこを褒められたかがわかることが重要なのです。また、その内容が、他の児童生徒にも理解できる内容であれば更に効果が高まります。つまり、教師が指導観としてイメージしている、活動終了時の子どもたちの姿を、言葉がけでも導いていくということです。以下に示した内容は、ある授業場面での、言葉がけ例です。

頭よりおしりを高く上げて！



〇〇さん腕がピンと伸びて素晴らしい！



さっきの自分を超えられるかな



手はパーだよ！



腰が上がってるね！



※ 実際という言葉がけ（音声・映像の紹介あり）

【その他の言葉がけ例】

- ・よく何回も跳んでいるね。
- ・記録を上げられるかな。
- ・ここで「ドン」と踏み切るんだよ。
- ・その跳び方が大事なんだよ。
- ・この前まで腰が上がっていなかったけど、ピシッと上がってますよ。
- ・バレリーナみたいだね。
- ・〇〇さんの手がきれいです。
- ・バネのようにいきましよう。
- ・バスケットボールのようにトントンしている感じだよ。
- ・指先が床につくように。
- ・この間より成長していますよ。

※ 1単位時間で、100回言葉がけを！



【ポイント】
・子どもたちがイメージしやすい言葉がけ

・音声表現も大切



【ポイント①】

子どもたちに、より多くの言葉をかけるためには、子どもたちが成功した場面を見逃すことのないような場所に教師が立つ必要があります。つまり、活動全体を見渡せる位置に立つことで、子どもたちの活動をつぶさにキャッチできます。もちろん、すべての時間は無理です。しかし、そのような意識を持つことが大切です。



【ポイント②】

よい体育授業で見かける光景に、先生自身に勢いがあったり、表情が豊かであったりします。子どもと共に活動し、「できた」「わかった」を共感できる言葉がけを、表情をつけて言えるといいですね。



【ポイント③】

集合した時や説明する時は、子どもと同じ目線に姿勢を下げ、語りかけると安心感があり、より聞き入れられる状況が高まります。その時に、注目させるための言葉を言うと集中力も増します。「おへそをこちらに向けてください。」



【ポイント④】

教師師範や上手な子どもを使った師範については、注目させたいポイントを先に示し、師範の後に回答させるような発問をすると、思考力が高まります。



【ポイント⑤】

個人に対してや全体に対しての評価・言葉がけをバランスよく行っていきましょう。



先生方の言葉がけで
体育好きな児童・生徒を
増やしていきましょう。
子どもたちの喜びの姿
をエネルギーに変えて！

